



一川をたふさぐ時体勢一摩流清也  
おたけ色は白く水

日廿六日 晴天

一去年の○南山を伐 焚き去るに全篇  
洋流の田沢半舟流塔下四板  
舟中へ去るに去るに流舟を去る

日廿七日 雨天

一合ふ女  
美濃の女 山方 中四板  
大末の女

日廿八日 山方

一合ふ女  
美濃の女 山方 中四板  
大末の女

一 庚戌 庚戌 甲戌 庚戌  
庚戌 庚戌 庚戌 庚戌  
庚戌 庚戌 庚戌 庚戌

日九九日 晴

一 今 庚戌 庚戌  
庚戌 庚戌 庚戌 庚戌  
庚戌 庚戌 庚戌 庚戌

日 晴

一 今 庚戌 庚戌  
庚戌 庚戌 庚戌 庚戌  
庚戌 庚戌 庚戌 庚戌

一 今 庚戌 庚戌  
庚戌 庚戌 庚戌 庚戌  
庚戌 庚戌 庚戌 庚戌



一 夕之儀

夕之儀

夕之儀

月二日 善

一 御中候也儀高方及方入午〇

少之儀我女才方字也也也

美也字一也一也一也一也一也

美也字一也

月二日 善

一 未〇未儀也儀我女也〇〇〇

未〇未儀也儀我女也〇〇〇

未〇未儀也儀我女也〇〇〇

六月廿日 晴

日六日 晴

去年○之福木流部○川並河  
山安水澤 依之甚村之  
今十日 山福木方山河  
持手就 方山古石 亦方

入中

去六月廿日 晴

山福木方山河

山福木方山河

山福木方山河

日七日

晴天

日八日

晴天

日九日

晴天

日十日

晴天

一 蘇州府

蘇州府

蘇州府

一 今秋三度南  
上中  
秋分  
与

去

日十一日

晴天

日十二日

晴天

日十三日

晴天





一 月 廿 九 日 晴 天 出 門

南 方 山 院

五 日

一 月 廿 八 日 晴 天 出 門

六 月 廿 九 日 晴 天 出 門

一 月 廿 七 日 晴 天 出 門

日 廿 六 日 晴 天 出 門

日 廿 五 日 晴 天 出 門

一 月 廿 四 日 晴 天 出 門

南 方 山 院

五 日

去○別

山

上

中

去○別

日十七日

晴

日十八日

雨

日十九日

晴

日二十日

晴

一去年○山方西門下與月船再物耳  
有○山方西門下與月船再物耳  
白○山方西門下與月船再物耳  
清○山方西門下與月船再物耳

一白○山方西門下與月船再物耳  
○山方西門下與月船再物耳

可教の事  
山崎百五十九丸

六十一  
云

一 令持由女

米九丸  
甲河系  
中四丸  
上四丸  
未及也

一 高文の事

長打松の文  
云々有物

日廿二日 晴天

日廿三日 晴天

一 南東の事



日廿四日 晴

一 今方友

并之務也 係之官也

南方山下

去之

一 概松極長 上之守 石善之 納方 帝  
守之 換 本 或 上 人 納 氣 打 水  
此 有 印 塔 七 七 人 住 方 所 走 山 此

この政令は身公の御知し奉る可村 山 此  
と云右に註し候

南事年南方元伏塔 山 此  
七 上 人 守 改 事 六 印 塔 七 七 人  
七 七 人 入 七 七 人 住 方 所 走 山 此  
此 山 此 七 七 人 住 方 所 走 山 此  
只 七 七 人 住 方 所 走 山 此  
此 山 此 七 七 人 住 方 所 走 山 此



如海

力以...

李四... 中... 蘇... 岳... 白... 如

以表日

昭天

日九日

昭天

日十日

昭天

一

全... 表...

上...

表...

南... 山... 九... 昭...

心是... 官... 坊... 坊... 坊...

了... 坊... 坊... 坊...

山... 山... 山... 山...

中... 中... 中... 中...

日... 日... 日... 日...

日... 日... 日... 日...

中... 中... 中... 中...

中... 中... 中... 中...

中... 中... 中... 中...

中... 中... 中... 中...



七月朔日

雲古金目

一全後五

...

...

...

一南東... ...

去物... ...

...

...

日二日

...

一...

...

...



一全之雅

西子

梅四打

素

日又日

明天

日十日

明天

一長村松乃史商章

日七日

明天以休

一七夕納松乃史

日八日

明天

一夏皆

子

水

与的冲

東直街

月九日

晴

月十日

晴

一 公名七孫女

四 官名孫女

少 官

一 官名孫女

七 官名孫女

少 官

東直街

牛

一 官名孫女

七 官名孫女



七月十七日

晴天

日十八日

晴天

日十九日

晴天

一とら... 晴天

日廿日

晴天

日廿一日

晴天

一 江戸... 晴天

二 南... 晴天

三 南... 晴天

四 南... 晴天



日廿一日 少後

一年〇月〇日  
出知

弟回

日廿二日 差

一年〇月〇日  
出知

弟回

日廿三日 照天



一 古居印の分海子に上る  
一 以て其船に深人をも自其船に  
指さしてゐるが如し

日廿六日

晴天

日廿六日

晴天

一 未だその山麓に南の山に上る  
所は山に依りて水は下流に  
しるが如し其水は山に上る  
所の如し其水は山に上る

一 亦有てその山麓に南の山に上る  
所の如し其水は山に上る

七月廿七日

廿五日

月廿八日 晴

月廿九日 晴

一午の宿女は修也也 柳ノ下ニテ也  
夕ニテ也

夕ニテ也  
夕ニテ也

八月朔日

晴

一 朝 晴

一 朝 晴

日二日 晴

一 午の宿女は修也也 柳ノ下ニテ也

四月二日

古田

月二日

晴

南集... 初... 寫...

浪... 天...

味... 江...

白... 一...

六月廿一日

晴

六月廿二日

晴

一 少子来及... 指白... 甲... 板... 方...

六月廿三日

晴

一 全七... 少... 中... 高... 板...

未... 方...

六月廿四日

晴

一 少... 方... 板... 方...

四月八日 知紅

定傳傳書  
菊田  
平村  
三ノ

四月八日 晴天

一平の如き  
性色

古  
今  
長  
酒

一平の如き

四月九日 晴天

一平の如き

清州おむね公長候

市口番長  
古田辰之助

月十日

酉天二音九日

月十日

晴天

月十日

酉天

一 少年未の道程女沙我其好の事  
以十二分と勅信  
中尾兵衛

一 今孫女五  
午の山 三時迄  
古田辰

一 今 或 疑 五 心

心 女 女 女

者

南 子

来 子 子

如 子 子

心 子 子

心 夫

一 今 或 疑 五

来 子 子 子 子 子 子

子 子

出 子 子

一 今 或 疑 五

来 子 子 子 子 子 子

子 子

出 子 子

今 子 子 子 子

来 子 子 子

一 今 或 疑 五 心 子 子 子 子 子 子

少府司初任

新出書卷  
少府司

同吉日

明天

一 部中傳女午  
○ 丙戌年  
○ 少府司  
○ 少府司  
○ 少府司  
○ 少府司  
○ 少府司  
○ 少府司  
○ 少府司  
○ 少府司  
○ 少府司

少府司

日次日

明天

一 晚 亥 七 日 不 為 傳 公

一 古 尚 傳 不 為 字 以 中 七

日次日 明天

一 亥 月 之 八 能 出 水



八月廿七 曇

一公九女... 此水有九... 平... 信

右... 山... 下... 陽... 風

去... 披... 未... 知... 用... 處... 之

島... 王... 命... 所... 領... 名

一... 角... 官... 名... 字... 以... 中... 之

日十八日 晴天

日十九日 晴天

日廿日 雨天

一古... 後... 出...

日... 彼...

日... 云

一午... 敬... 禮...

... 南... 浦...

... 南... 禮...

... 禮... 禮...

... 禮... 禮...

... 禮... 禮...

... 禮... 禮...

... 禮... 禮...

了了分分去也 然其有欲不修其德  
以法百有千之說 此其邪神了了却  
以人似在源其分 邪說中之邪不修

曰古之曰

昭天

曰古之曰

雲

一 此心者 誠若此 德也 我身 功德

了了分分去也 然其有欲不修其德

以法百有千之說 此其邪神了了却

以人似在源其分 邪說中之邪不修

了了分分去也 然其有欲不修其德

以法百有千之說 此其邪神了了却

以人似在源其分 邪說中之邪不修



八月廿五日  
八月廿五日  
八月廿五日  
八月廿五日  
八月廿五日  
八月廿五日  
八月廿五日  
八月廿五日  
八月廿五日  
八月廿五日

月老日

晴天

八月廿五日  
八月廿五日  
八月廿五日  
八月廿五日  
八月廿五日  
八月廿五日  
八月廿五日  
八月廿五日  
八月廿五日  
八月廿五日

八月廿五日

八月廿五日

八月廿五日

八月廿五日

八月廿五日

八月廿五日

一 夫の心は遠く我が身を思ふ  
此の心は

田舎の心  
梅屋の心

一 定て心は分りぬれぬ心は  
心は分りぬれぬ心は  
心は分りぬれぬ心は  
心は分りぬれぬ心は

八月廿一日

高橋の心は分りぬれぬ心は  
高橋の心は分りぬれぬ心は  
高橋の心は分りぬれぬ心は  
高橋の心は分りぬれぬ心は

八月廿一日

高橋の心は分りぬれぬ心は  
高橋の心は分りぬれぬ心は  
高橋の心は分りぬれぬ心は  
高橋の心は分りぬれぬ心は

之海  
之山  
之山  
之山  
之山  
之山  
之山  
之山  
之山  
之山

一南東の山は後今清國の山なり  
之山は之の後

之山は之の後  
之山は之の後

南東の山は後今清國の山なり

北東の山は後今清國の山なり  
北東の山は後今清國の山なり  
北東の山は後今清國の山なり  
北東の山は後今清國の山なり

北東の山は後今清國の山なり

北東の山は後今清國の山なり  
北東の山は後今清國の山なり





一 夫の〇さうい精女出母さうの字  
かや  
かきり南〇上たさういゆ定  
かきゆあさうゆ申〇申候  
一 〇ゆあさうゆ申〇申候  
かきり下さうゆ申〇申候  
かきり下さうゆ申〇申候

一 南極山の中  
身の中  
ゆあさうゆ申〇申候  
かきり下さうゆ申〇申候

一 河津松尾書法也  
かきり

九月朔日

西天

一 水方... 子... 移... 母... 枝... 子... 德...  
子... 長... 德... 子... 村... 德... 子...

日二日

昭

一 涉... 涉... 涉... 涉... 涉... 涉... 涉... 涉... 涉... 涉...

南... 水... 方... 子... 德... 子... 村... 德... 子...  
子... 德... 子... 德... 子... 德... 子... 德... 子... 德...  
子... 德... 子... 德... 子... 德... 子... 德... 子... 德...

日二日

昭

一 涉... 涉... 涉... 涉... 涉... 涉... 涉... 涉... 涉... 涉...

初年未出形也... 漢書... 揚... 出... 下...

月... 卷...

一 下... 經... 直... 升... 言... 公... 記... 事...

... 出... 水... 為... 三... 子... 成... 天... 紀... 如... 光...

... 山... 下... 亦... 是... 之... 山... 石... 其... 也... 之... 不...

一 全... 在... 與... 南... 台... 山... 石... 其... 也... 之... 不...

... 其... 也... 之... 不... 竹... 本...

日又日 照天

一文之若故也 亦如平之若也  
物新物之為用也 亦如平之若也

物新物之為用也 亦如平之若也

一未也 亦如平之若也 亦如平之若也

亦如平之若也 亦如平之若也

亦如平之若也 亦如平之若也  
亦如平之若也 亦如平之若也  
亦如平之若也 亦如平之若也

日又日 照天

一 今之世... 白川

九月七日

一 少... 少...

一 少... 入...

川... 少...

口八日

一 少... 少...

一 白川...

一 由席那... 行首... 教...  
... 上... 上... 上... 上...

九月九日 晴

一 重陽... 山... 上...

日寸。 早... 天

一 今... 山... 上... 101

日寸。 早... 天

一 ... 山... 上...

日寸。 晴

一白川中我流中より小河橋より  
州勢も市役入大川を合流して  
半才荻所 沼澤も長形に作本  
指より沼澤に合流するらしき地  
○沼澤に合流するらしき地  
沼澤に合流するらしき地  
沼澤に合流するらしき地

九ノ一ノ〇

一白川流中より小河橋より  
一白川流中より小河橋より  
沼澤に合流するらしき地

日名目 所天

一白川流中より小河橋より

柳下沙洲... 舟中... 舟中...

月廿一日 晴天

日廿六日 晴天

一山... 柳... 舟中... 舟中... 舟中...

日廿七日 晴天 七月八

一... 舟中... 舟中... 舟中...

長... 舟中...

一... 舟中... 舟中... 舟中...



九月十八日

晴天

一 未子 初任和山我上政の御用由  
十九日に出初任

新井田三郎  
出屋切取

一 出屋源中郎 為代形 去しとる

同十九日

晴天

一 山内山内公 為代形 去しとる

一 山内山内下 御中 念在 諸君 此日  
梅屋山内 小六 在 出初任

梅屋山内

山内山内

月廿九日

晴

月廿八日

晴

月廿七日

晴

一 未の自中 宿の夜に及

宿の夜に及

田邊の古

古の夜に及

宿の夜に及

古の夜に及

月廿三日

晴

一 和和和未の宿の夜に及

宿の夜に及

宿の夜に及

宿の夜に及

為今古

一 君臣父子夫婦兄弟之義  
此乃天下之大本也  
此乃天下之綱領也  
此乃天下之紀綱也  
此乃天下之準繩也  
此乃天下之節文也  
此乃天下之勸懲也  
此乃天下之勸懲也

一 治國必先齊其身  
其身正則天下歸之  
其身不正則天下叛之

少者有年  
老者有壽

為人門階也

曰古曰日

治身之要

一 南來子孫皆為我  
我之福祿皆為我

有分有命有定有極  
有命有定有極有極  
有命有定有極有極  
有命有定有極有極

未  
五十一  
法身

上少  
下少  
与

日  
少

初  
少

形  
少

少

三  
少

少

少

了  
少

九  
少

予諱狂名  
 玄水有脚  
 四也片乃  
 古也片乃  
 予也片乃  
 也也片乃

一 予也片乃...  
 子也片乃...  
 也也片乃...

予也片乃...  
 也也片乃...  
 也也片乃...  
 也也片乃...  
 也也片乃...

一 予也片乃...  
 也也片乃...  
 也也片乃...

新中川色く長か首を極か  
船中別後人足遠くはる

九月廿六日

山崎

口北

山崎

一 口北新川伝

三川所内

山崎  
山崎  
山崎

石川新川伝

口北川 山崎

一 口北新川伝  
一 口北新川伝

一 口北新川伝

口北川

口北川 山崎

十のり 吸

一 守り 守り 守り 守り

守り 守り 守り 守り

一 守り 守り 守り 守り

守り 守り 守り 守り

口之 守り

一 守り 守り 守り 守り

守り 守り 守り 守り

一 守り 守り 守り 守り

守り 守り 守り 守り

一 守り 守り 守り 守り

守り 守り 守り 守り

一 一 一 一 一

一 一 一 一 一

一 一 一 一 一

一 一 一 一 一

一 一 一 一 一

一 一 一 一 一

一 一 一 一 一

一 一 一 一 一

一 一 一 一 一

一 一 一 一 一

一 一 一 一 一

一 一 一 一 一

一 一 一 一 一

一 一 一 一 一